

調印式でがっちり握手

札幌厚別高と千歳科学技術大

e—ラーニング活用へ連携

札幌厚別高校（鶴丸英昭校長）と千歳科学技術大学（雀部博之学長）は二十日、厚別高校小会議室でe—ラーニングを柱とする高

大連携の調印式を行った。鶴丸校長、雀部学長が互いにサインした協定書を交換したあと、がっちりと握手を交わし、連携して教育の充実・発展に努めていくことを確認した。

e—ラーニングを柱とする新しい教育システムの確立とその普及を目的に連携し、双方の教育の充実・発展を図る。千歳科学技術大学と道内高校との連携は同



校が十二校目。今後、教育にかかわるデジタ
ルコンテンツ開
発や利用を通じ
た新しい教育シ
ステムの普及、
教職員・学生と
の交流など、連
携事業を進めて
いく。

に期待を寄せた。また、鶴丸校長は「生徒がe—ラーニングを通して、学ぶことによって関心を示し、自分を高めるために努力する、といった有効的な活用に向けていきたい」と抱負を語った。

電子教材で連携事業を

千歳科技大と札幌厚別高が調印

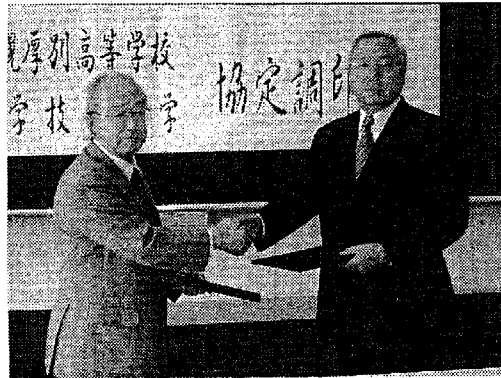
千歳科学技术大学(雀部博士之学長)と札幌厚別高校(鶴丸英昭校長)は

このほど、同大が開発した数学などの電子教材「eラーニング」を柱とした新しい教育システムの確立と普及を目的に連携事業を展開する協定書に調印した。高大連携による協定締結は同高が

十二校目。

eラーニングは、同大光科学部の小松川浩助教授を中心とする研究グループが学生の基礎学力向上を目的にソフトを共同開発したもので、道内外の利用者は一万五千人を越えている。

数学の電子教材には、方程式や因数分解、微分



協定書にサインし、握手する部学長(左)と鶴丸校長

積分など中学一年から高校三年までの数学の授業で学ぶ

二千以上のコンテンツ(情報内容)が盛り込まれており、同高では現在、IT教育の推進を含めて数学と物理で電子教材

「eラーニング」を活用した授業を展開している。

連携強化によって今後、コンテンツの開発や教職員、学生との交流事業を展開する。鶴丸校長は「eラーニングに興味を持ってもらい、自分の学力を確かめる機会にしたい」と述べた。